



LWB-16M/LWB-64 メイン FPGA プログラム Ver. E リリースノート

2017年12月27日
オタリテック株式会社

弊社製品をご使用いただき厚く御礼申し上げます。LWB-16M/LWB-64 メイン FPGA プログラムの新しいバージョンをリリースいたしましたので、ご報告いたします。バージョンアップを検討するにあたり、下記の注意事項とバージョンレポートにご留意いただけますようお願い申し上げます。

なお、バージョンアップの実施についてはオタリテックまたは販売店にお問い合わせください。

1 注意事項

1-1 互換性

LWB 本体（ハードウェア）との互換性に関連する重大な変更はありません。ただし、複数の LWB を接続して ARCNET の伝送を行う場合、メイン FPGA プログラムのバージョンが Ver. E の LWB と Ver. D 以前の LWB とが混在していると正しく動作しません。

2 バージョンレポート

2-1 メイン FPGA プログラム Ver. E

2-1-1 機能拡張, 仕様変更

- 1 オプションの ARCNET 伝送機能について、3 台以上（最大 8 台まで）の LWB に ARCNET 機器を接続できるように機能を拡張しました（Ver. D 以前では、ARCNET 伝送は LWB 2 台間でのみ可能）。詳しくは『LWB-16M & LWB-64 用 マルチチャンネル・ワイヤリング・システム 取扱説明書 第 6.3 版』（以降）の「2.2.9 SW REMOTE/ARCNET モジュール」と「4.1.4 制御信号伝送のモード（ホスト/スレーブ）を切り替える」、および『Lightwinder Commander V2 LWB コメントリー & コミュニケーション・システム用 コントロール・ソフトウェア ユーザー・マニュアル 第 3.7 版』（以降）の「3.3.1 LWB ユニットの設定を行う：Unit タブ → ③ Serial Format, ④ Host/Slave」と「3.3.2 システムの設定を行う：System タブ → ■ シリアル伝送プロトコル」を参照してください。

2-2 Commentary Box FPGA プログラム Ver. B

機能追加：モニター自動オン・モードを追加，MONITOR スイッチおよび B.TALK スイッチの部品変更に対応（詳細は LWB_RN_h1601.pdf を参照してください）

2-3 Audio Box FPGA プログラム Ver. A

機能追加：ボックスに搭載されたヘッド・アンプ・パラメーターをボックス上のスイッチ等でローカル操作する機能を追加（詳細は LWB_RN_h1601.pdf を参照してください）

以上